

令和3年度 第6回運営推進会議

ぼだいじみんなの家

谷本 千秋

□登録人数 25/29人 男性 11名 女性 14名

(イワタニ: 3名 サイドタウン: 2名 みどりの村: 4名 北山台: 3名 近江台: 1名
三上台: 1名 菩提寺: 5名 正福寺: 1名 ケアハウス: 1名 岩根: 1名 下田: 2名 中央: 1名)

3月22日 現在

□平均要介護度…2.73 平均年齢・・・84.8歳

(2月末時点)

	登録人数	通い人数	訪問回数	宿泊人数	通い平均	訪問平均	宿泊平均
1月	27名	323名	362回	117名	10,4人/日	11,7回/日	3,77人/日
2月	27名	297名	357回	113名	9,58人/日	11.5回/日	3,65人/日

□活動報告

A 事業所自己評価の確認

～委員会活動～

・全国的にも新型コロナウイルス・オミクロン株が爆発的に広がり、当法人内でも緊急対応を行う事態が発生しました。谷本所長は看護師で、感染症委員長を務めていることもあり、緊急的に当該部署への緊急応援・現場の指示や指導で昼夜問わず活動を続けました。幸い、法人内では、広がりを最小限に防ぐことができ、現在も運営を継続できています。所長不在の中でしたが、スタッフが協力し小規模を守ってくれていました。その成果としてチームワークが向上しました。

・安全衛生委員会・感染症委員会・業務改善委員会・ノーリフトケア®など、利用者様に関連する重要なものであり、委員会活動にかかわることで、リーダーシップやフォロワーシップを学ぶ機会となっています。

・業務改善発表会では、「ご利用者I氏のトイレ動作の自立に向けて」というテーマで一年間取り組んだ内容を発表しました。車椅子のご利用者様の体操や筋力アップを行う事で、捕まって立つことが継続出来ています。これからも続けていきます。別添業務改善の資料 35 ページに発表の内容があるのでご覧ください。



・近江ちいろば会の法人内研修で、ノーリフトケアについての成果発表も行う事ができました。（取組内容は3ページ目に記載させていただいています。）

ノーリフトケア®とは介護される側、する側双方において安全で安心な抱え上げない・持ち上げない・引きずらないケアのことです。双方の健康的な生活を保障できるケアを実践することを目的としています。初年度でどこまでできるか迷いながらではありましたが、少しずつ環境が変わってきていると思います。

～新年の準備～

・新年をみんなでお祝いしました。大晦日の夜、泊まりの利用者さんと一緒に紅白歌合戦を見て、朝にはおせち料理をいただきました。良い正月となりました。年賀状用の写真撮影も、皆さん笑顔で取って下さいました。良い記念になりました。寅年の壁紙もきれいに完成しました。



・12月に101歳を迎えられましたご利用者様がおります。みんなで盛大にお祝いをいたしました。元気や長生きの秘訣を教えてくださいました。もっともっと長生きして頂きたいと願います。



・地域包括支援センターや他ケアマネ様からのご紹介が増えております。朝のお迎えの時間に起きられなかった方やデイサービスに行きたくないといった事例でも、昼前の遅い時間の迎えに工夫したりすると、すんなり出てきてくださったりとタイミングが合った様子です。私たちとのつながりを一つ一つ太くしていけるようかかわりを大切にしていきます。

B 事業所のしつらえ・環境

・新型コロナウイルスの感染対策は緩めず継続しております。現状、感染者の発生はありません。しかし、家族や周りが陽性者になられたケースが3例あり、ご本人の感染対策として、家族の隔離解除まで緊急

的にご本人の隔離ショートステイの対策を取りました。結果、本人に感染することなく無事に期間を終え自宅へ帰ることができました。このような緊急的なコロナの対応ができるのも、自由なプランができる事業所だからこそと思っています。今回は、感染を防ぐことができましたが、引き続き感染対策をしっかり続けていきます。

・ノーリフトケアの取り組みで、ベッドサイドの滑り止めの足元マットの導入と、トイレのゴミ箱を変えました。腰をかがめなくても、ゴミを捨てられるように工夫しました。脱衣所にも手すりを取り付ける予定をしており、ご利用者様がご自分で立てる環境を作っていきます。



C 地域とのかかわり

・コロナになってからも続けていることが、海鮮丼です。なかなか、外食のできない皆様においしく食べていただきたいと思い、継続しています。毎月、本当に楽しみです。



・別添させていただいていますが、10周年記念誌ができました。地域の皆様に支えられて10年、本当にありがとうございます。

これからも地域の皆様に貢献できるように頑張っていきます。

D 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み

・必要に応じてご自宅へ訪問、病院への受診同行、地域サロンへの送迎、コロナワクチンの送迎等行なっています。民生委員様、地域包括とも連携をとり地域での暮らしをみんなで支える事業所を目指します。

E 運営推進会議を活かした取組み

・今後も運営推進会議を通じて、小規模の説明会を行ったり、地域の方々とのコミュニティや地域情報ができるように努めていきます。地域の皆様にも小規模多機能型居宅介護ほだいじみんなの家を知っていただきたいので、サロンなどのお手伝いをさせていただければと思っています。

F 防災・災害対策

・災害時の業務継続計画を職員で確認しています。災害時であっても事業を継続できるように何度も見直しをしていきます。災害バッグの確認や、アクションカードの活用など訓練を行っていきます。消防訓練は3月の予定です。

G プライバシー・人権

・事業所内での虐待拘束に該当する項目はありません。法人の虐待等防止委員会に参加し、現場のさらなるサービスの質向上につなげています。